

# 食の世代間交流で地域を元気に 「もぐもぐランチ」の取り組み

グループほかほか 大野市 小山公民館



グループほかほかの皆さん。前列右から2番目が代表の前田啓子さん=いずれも大野市小山公民館で

大野市の小山公民館では毎月第2土曜日、自主グループ「グループほかほか」が弁当作りに励んでいる。

会の発起人は代表の前田啓子さん。民生委員の任期を全うした後も、何らかの形で地区に貢献したいと考えた前田さんは、食を通じての地域活動「もぐもぐランチ」を思い付いた。同公民館長に賛同を得て県の「シニアチャレンジ応援事業」に応募し、2019年に発足。助成を得るなどして軌道に乗せた。メンバーは地域活動などを通じて出会った40~70代の女性8人。発足当初は世代間交流を主目的とし、作っ

できるだけ長く続けてほしい」と話す。一瞬で弁当が売れた後は、和気あいあいとした雰囲気の中で、片付けと反省会。その後、予算や調理方法、食材や季節感を考慮しながら、次の月の献立を決めていた。「またにぎやかにランチを食べる日が来るのが待ち遠しい」と話すメンバーたち。「将来的には、事情があって公民館まで来られない人に楽しんでもらえるよう、公民館外での「お出かけもぐもぐ」にチャレンジしたい」と、前を向く。

弁当は誰でも購入できるが、公民館に来た人の分のみ渡す。問い合わせは小山公民館=0779-66-2468=。

※新型コロナウイルスの影響で休止の場合あり



調理中の様子



越前和紙「UKIGAMI」  
缶バッヂ 880円(税込み)

プローチとしても使える越前和紙の缶バッヂ。立体的な模様に、美しい色合いが特長で、身に着けると装いも気持ちもワンランク上げてくれる。

手掛けるのは、1868(明治元)年創業、越前市大滝町の山次製紙所。独特の立体模様は、和紙を漉(す)く過程で鋭角な凹凸を付ける「浮き紙(がみ)」という独自の技法から生まれる。色は10色で、鮮やかな色合いが和紙の風合いを一層引き立てる。

伝統工芸士の山下寛也さんが「越前和紙の良さを伝えるアイテムの一つ」と考案。一昨年発売され、同年あつという間に年間約1,500個が売れるヒット商品となった。直徑約4.5cmの中、ものづくりのプロセスやストーリー、職人の思いがぎゅっと詰まっている。

山次製紙所のオンラインストアのほか、福井市セレクトショップ「BENTO」(照手2-4-5)などでも購入できる。

山次製紙所  
④越前市大滝町29-5  
⑤0778-42-0553  
詳しくは 山次製紙所 検索

## 簡単! おいしいクッキング~ スナップエンドウとベーコンの マヨネーズ炒め

【作り方】  
【準備】スナップエンドウは筋を取る。卵は割りばくして塩コショウをする。ベーコンは2枚幅に切る  
①フライパンを中火で十分熱いたらサラダ油を入れなじませ、卵を入れる。卵を数回かき混ぜ、半分程度火が通ったらいなん目に取る。  
②同じフライパンにマヨネーズを入れ中火にかける。マヨネーズが溶け始めたら、スナップエンドウ、ベーコンを入れ、2~3分炒める。  
③②に①の卵を加え、卵を切るようにさつと合わせたら、塩コショウを少しうで味を調えて出来上がり。

【材料】(4人分)  
スナップエンドウ 約20本  
ハーフベーコン 1/2パック  
卵 2個  
マヨネーズ 大さじ1  
サラダ油 大さじ1  
しょうゆ 適量  
塩コショウ 適量

※スナップエンドウが大きい場合、半分に切って使ってください

作品募集

## おったか塾 参加者募集

### 筆文字アート教室

日時 5月22日(土)  
午前の部 午前10時30分~正午  
午後の部 午後1時~2時30分  
場所 JR福井駅西口ハピリン2階の福福小屋  
参加費 1,500円(カラー筆ペン1本付き)  
対 象 小学生以上 定 員 各部15人  
講 師 川野千鶴さん(筆文字作家)

文字を書くことが苦手な人でも、つづくつかむと筆文字アートを書けるようになります。越前と紙に、味のある文字を書いてみましょう。自分自身の表現を楽しんでください。

主催 日刊県民福井・中日新聞社  
共催 福井市観光物産館福福館  
問い合わせ・申し込み先 日刊県民福井事業グループ=0776-28-8618  
(平日午前10時~午後6時)

第28回新聞配達に関するエッセコンテスト

新聞配達や新聞販売店に関するちょっといい話、日頃感じていることや配達スタッフとの心温まるエピソード、新聞配達での経験などを400字程度のエッセーにしてお送りください。

応募方法  
下記の項目をご記入の上、はがき、封書、ファックス、Eメールのほか、日本新聞協会ウェブサイトから、①氏名(よみがな)②住所③新聞配達経験の有無④生年月日⑤性別⑥電話番号⑦職業⑧児童・生徒の方は⑨学校名⑩学年⑪担当教諭名もご記入ください。

締め切り 6月10日(木) \*当日消印有効

賞金等

最優秀賞(各部門1編)

小学生部門

図書カード2万円分、記念の盾

中学生・高校生部門

図書カード3万円分、記念の盾

大学生・社会人部門

図書カード1万円、記念の盾

ほか

問い合わせ・送り先

〒100-8543(住所不要)

日本新聞協会「エッセコンテスト」係

②03-3591-4405 FAX03-3591-6149

Eメール essay@pressnet.jp(添付形式にせず)

ウェブサイト https://www.pressnet.or.jp

詳しくは 日本新聞協会 エッセコンテスト 検索

## 新鮮でおいしいコーヒー豆を



味の良いコーヒーをおいしいうちに提供したい」と、2回に分けて焙煎する「ダブル焙煎」にこだわる。豆の種類によって火を入れる長さを調節したり、場合によってはえて2回焙煎しなかったりと、豆のおいしさを最大限に引き出す努力を惜しまない。豆の芯まで火を通して、味の幅が広がるという。

ほかにも、「ハンドピック」といわれる手作業で豆を選別するなど、加工の全工程に気を配るのは、「豆が一番おいしくなるように」との思いから。手間



店頭にある焙煎機。  
三田村さんの相棒だ

### 自家焙煎&欧風焼き菓子 エルザスコーヒー

④鯖江市本町2-1-26  
⑤0776-73-3786  
⑥午前9時~午後7時(土曜・日曜、祝日は午後6時まで)  
⑦毎週水曜日と奇数週の月曜日

Instagram: 美容室カッサリダ 検索



さんぽみち

## 教えて! 大人の魅力、グレイヘア

1日に約0.3ミリ伸び続けるという頭髪。定期的な白髪染めにわずらわしさを感じ、「いっそのことグレイヘアにしたい。でも、似合うかどうかが不安」と思う人は多いのでは。あわら市大溝2丁目の美容室カッサリダの中山雅之さんと和代さん夫婦に、話を聞いてみた。

素敵なグレイヘアを目指すには、「歳だからそろそろ」ではなく、「おしゃれの選択肢の一つとして白髪を楽しもう」という気持ちはポイントです。信頼できる美容師と相談しながら、髪質や地肌の健康に合わせた自分スタイルを楽しんでみてください。

美容室カッサリダ  
④あわら市大溝2-32-16  
⑤0776-73-3786  
⑥午前9時~午後7時(土曜・日曜、祝日は午後6時まで)  
⑦毎週水曜日と奇数週の月曜日

Instagram: 美容室カッサリダ 検索

カットやカラーを公開しているので、参考にしてみては。

土料理を再現することもあり、ご飯との相性や味の決め方、現地からの食材の仕入れなど苦労は尽きないとか。1県のメニューを7~10日間提供。進行状況や今後の予定はSNSで発信している。人気のサザエオムライスが始まり、繁忙期に入ると、企画を一時中断するかもしれないそうだ。詳しくはフェイスブックやインスタグラムで確認を。

### コーヒー&レスト アメリカン

④坂井市三箇町57  
⑤0776-82-0418  
⑥午前11時~午後6時ごろ(暗くなるまで)  
⑦木曜日  
※ベット入店可

コーヒー&レストアメリカン 検索

## コロナ禍でも旅気分 オムライスで47都道府県制覇!



取材当日は茨城県の「きんぴら根こんのオムライスそぼろ納豆ソース」(税込み1,000円)。切り干し大根が入った「そぼろ納豆」は、福井ではなかなかお目にかけない

「焼きめし」を使ったり、地元のがんもどきを使ったりした個性的なオムライスが食べられる。中でも、サザエ(夏)やセイコガニ(冬)の季節限定オムライスは、他では食べられないと評判だ。

元々、オムライス好きで研究熱心な砂田さん、店のまかないで出したウナギや明太子を使ったオムライスが好評だったことから、コロナ禍でなかなか旅行に行

けない今、全国47都道府県のご当地オムライスを食べて、旅行気分を味わってもらおうと思いついた。昨年暮れに北海道からスタートし、青森県はホタテとニンニクとリンゴ、宮城県は牛タン、岩手県はアワビなど、地域色豊かな食材のオンパレードで話題を呼んできた。自分も食べたことのない郷

魚を描いた鮮やかな青い壁が印象的。絶景が広がり、歩き道も間近。行楽の一年休みスポットでもお薦めだ

魚を描いた鮮やかな青い壁が印象的。絶景が広がり、歩き道も間近。行楽の一年休みスポットでもお薦めだ

旅館 滋賀県  
海浜自然公園  
北陸新幹線  
三国港

アート  
アート

## 今月の読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

方応 ①希望のプレゼント ②住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業 ③現在購読の新聞名 ④地元のお薦めスポット ⑤読者からの便りコーナー「やる気をアップさせる方法」を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。

■はがき [宛て先] 〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室

「さんぽみち5・6月号プレゼント」係

■メール osanpo@fukuiko-h.c-co.jp

■LINE ID:@059fzwww さんぽみち 公式アカウントができました!

メール、LINEの場合は、件名または本文初めに「さんぽみち5・6月号 プレゼント」と記入して下さい

■アスクス 0776-28-8602

A 枠と白 お食事券1,000円分 5人

B 内くら お食事券500円分 5人

C ZAKKA Rui お買物券500円分 3人

D かわせ餅店 水まんじゅう 6個入り引換券 10人

E 白家焙煎&欧風焼き菓子エルザスコーヒー  
エルザブレンドの  
カップオンドリップパック(5個入り引換券) 3人

F コーヒー&レスト アメリカン  
オムライス(700円の商品)食事券 5人

締め切りは5月31日(月)必着

\*当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

数年前から子どもが「犬を飼いたい」と言い続けています。私も動物は好きですが、今のところ、子ども自身が犬の世話をできるまでと保留中。たくさんのベッド遺棄されているということをたびたび耳にします。NPO法人「福井犬・猫を救う会」のホームページには、飼い主さんの条件が明記されています。その一つが「終生愛情をもって飼っていたい方」。初めから捨てることを考えて動物を飼う人はいないと思います。考えさせられます。命を預かる責任と一緒に考えたいと思います。